

が参加しました。
所・小松昭夫理事長、八雲志人館の
メンバーや6名
が参加しました。

講演会は5月31日、立命館大学大
阪いばらきキャンパスで行われまし
た。松江市から、人間自然科学研究
所・小松昭夫理事長、八雲志人館の
メンバーや6名
が参加しました。

ガルトゥング博士はノル
ウェー出身の社会学者、数学者。
これまでに世界の150の国家
間、宗教間紛争の調停に関わり、
35の成功例を持つ平和研究、紛
争研究の開拓者、第一人者とし
て知られています。

ガルトゥング博士は、今のア
ジア、日本の状況が厳しくなつ
ている要因として、尖閣諸島、
竹島独島、北方領土など島の「領
土問題」を挙げ、「戦争に非常
に近づいている状況」と指摘。

力のない状態と定義。暴力を、
東アジア共同体の本部を沖縄に

積極的平和主義とは

今回の講演のテーマは次の3
点。

- 1、積極的平和としての東アジア共同体とはどういうものか。
- 2、創造性豊かな日本を築こう。
- 3、平和のために日本は何ができるか。

ガルトゥング博士は、今のア
ジア、日本の状況が厳しくなつ
ている要因として、尖閣諸島、
竹島独島、北方領土など島の「領
土問題」を挙げ、「戦争に非常
に近づいている状況」と指摘。



会場：立命館いばらきフューチャープラザ・カンファレンスホール

「初来日した1968年から48年間、アジア、日本の状況を見ているが、今ほど危険な状況になつたことはない」。「憲法9条は今や死文になつてしまつた」。士が大阪府茨木市で講演し、日本の現状に対する強い危機感を訴えました。

殺人、戦争、テロなどの「直接的暴力」、貧困、抑圧、差別などの「構造的暴力」、直接的暴力と構造的暴力を正当化するよう「文化的暴力」の3つの形態でとらえます。そして、戦争がないだけの状態を「消極的平和」とし、直接的暴力に加えて、貧困、抑圧、差別など構造的暴力もない「積極的平和」をめざすべきと提唱しています。

安倍晋三首相が安保法制を進めにあたつて「積極的平和主義」を掲げましたが、ガルトゥング博士は、「我々の積極的平和とは正反対。積極的平和は全く軍事的なものではない」、「1945年の第2次世界大戦終結後、アメリカは世界37か国で2000万人の人を殺してきた。日本は今や、集団的自衛権行使とクラムを組んで、世界のあらゆる所で戦闘行為をしようという方向に行つていて」と批判しています。

ガルトゥング博士はノルウェー出身の社会学者、数学者。これまでに世界の150の国家間、宗教間紛争の調停に関わり、35の成功例を持つ平和研究、紛争研究の開拓者、第一人者として知られています。



ガルトゥング博士と夫人の西村文子氏（通訳）

均衡の取れた対等な日米関係に改善

「日本は世界でも稀にみる独創性豊かな国。日本の文化、芸術的表現、地方の小さな組織のあり方に感銘を受ける。しかし、こと外交となると米国追従でまったく独創性がない」と指摘。米軍基地から出入国の手続きなしに、米軍人が自由に日本国内に出入りしている現状や、TPP（環太平洋戦略的経済連携）におけるISD条項（投資家対

企業に一方的に有利な内容であることを例に挙げ、「独立国家のあるべき姿ではない」と断じました。

（後記）
「ゆう科学通信」は皆様からのご意見、情報を確実に発信しています。

（交易場修）

国家間の紛争解決条項）が米国

によつて達成される。平和は安全保障によつては達成されない。これが歴史の教えるところ。

